

めずらし野菜図鑑

コレどうやって食べる？



農産物直売所などで販売されている見慣れない野菜。「食べ方がわからず買えずにいる」ということはありませんか？見かけたことはあるけれど、食卓の常連とは言えないめずらしい野菜をいくつかご紹介します！

めずらし野菜 ①

コールラビ



コールラビは、キャベツと同じアブラナ科の野菜。肥大した丸い茎の部分の皮をむき、白い部分を食べます。歯ごたえが良く、ほのかな甘味があるのが特徴で、生でも加熱してもOK。緑色と紫色の2種類ありますが、中の色や風味、食感は変わりません。

コールラビに含まれるビタミンCやビタミンUは、一般的には加熱に弱い成分ですが、コールラビは加熱してもこれらの栄養を損ないにくい組織構造をしています。

簡単レシピ

コールラビのまんぷり



材料

コールラビ	1個	砂糖	小さじ1
にんじん	1/2本	しょうゆ	大さじ1
ごま油	大さじ1	みりん	大さじ1
酒	大さじ1	すりごま	適量
		一味唐辛子	適量

作り方

- 1 皮をむいたコールラビとにんじんを千切りにする。
- 2 フライパンにごま油を熱し、野菜をしんなりするまで炒める。
- 3 調味料を入れ、汁気がなくなるまでさらに炒める。
- 4 汁気がなくなったら、お好みでゴマ、一味唐辛子を振って出来上がり♪



めずらし野菜 ②

バターナッツ

バターナッツは南アメリカ大陸原産のアメリカではポピュラーなカボチャ。ねっとりとした果肉で繊維質が少なく、ナッツのような風味が特徴です。

カボチャはカロテンが豊富ですが、果肉の色が濃いバターナッツには特に多く含まれており、免疫力を高める効果などが期待できます。

口当たりが滑らかなので、ポタージュにするのがオススメ。また、生食も可能で柿のような食感が楽しめます。



簡単レシピ

バターナッツのポタージュ



材料

バターナッツ	1/2個 (約350g)	牛乳 (豆乳)	300cc
水	100cc	塩・こしょう	適量
コンソメ (顆粒)	小さじ1弱	生クリーム	適量

作り方

- 1 バターナッツの皮をむき、種を除いて適当な大きさに切る。
- 2 鍋にバターナッツ、水、コンソメを入れて火にかける。蓋をして煮立ったら弱火にし、バターナッツが柔らかくなるまで煮る。
- 3 火を止め、ブレンダーやミキサーを使ってバターナッツをなめらかにする。
- 4 3に牛乳を加えて温め、塩・こしょうで味を調える。
- 5 器に注ぎ、お好みで生クリームを添えて出来上がり♪



めずらし
野菜 ③

ルバーブ



ルバーブは、特有の香りと強い酸味のあるタデ科の野菜です。見た目はフキによく似ていますが、加熱するとトロトロに溶けてしまうので、ジャムやお菓子作りによく使われます。

食べるのは、30~40cmの葉柄の部分。葉の部分はシュウ酸を多く含むため、食べるのは控えましょう。

ルバーブには、カリウムが比較的多く含まれています。体内の余分なナトリウムの排出を促す作用があるため、高血圧など生活習慣病の予防に良いとされています。

簡単レシピ

ルバーブ ジャム



材料

ルバーブ…………… 300g
グラニュー糖 …… 150g
レモン(しぼり汁) …… 1/2個分

作り方

- 1 ルバーブをきれいに洗い、皮ごと1cmくらいの大きさに切って水にさらす。
- 2 水を切ったルバーブを鍋に入れ、グラニュー糖をまぶす。
- 3 1時間ほどおいてから、鍋を弱火にかけて煮る。
- 4 ルバーブが溶け、30分程度煮つめたら、レモン汁をしぼって混ぜる。
- 5 熱湯消毒した瓶に詰めて出来上がり♪



☆ルバーブには、濃い赤色・緑色・赤と緑のグラデーションなど種類があります。味に大きな違いはないので、赤いジャムを作りたいときは、赤色のルバーブを使いましょう。

めずらし
野菜 ④

ビーツ

ビーツは、ほうれん草などと同じヒユ科の野菜。「テーブルビート」・「食用ビート」などとも呼ばれ、砂糖の原料のてんさい(砂糖大根)の仲間です。

果肉も鮮やかな赤紫色で特有の甘みと香りがあり、加熱するとカブのような食感。葉の部分もおひたしや炒め物にして食べることができます。

ビーツには、カリウムや葉酸が多く含まれており、高血圧予防や貧血予防に効果が期待できます。また、赤い色は、ポリフェノール的一种ベタシアニンという成分によるもので、抗酸化作用があるといわれています。



簡単レシピ

生ビーツの ボルシチ



材料

牛肉(ラム肉)…………… 250g	にんにく…………… 1片
ビーツ…………… 1個	トマトピューレ…………… 100cc
にんじん…………… 1/2本	水…………… 400cc
ジャガイモ…………… 1個	コンソメ…………… 少々
たまねぎ…………… 1個	塩・こしょう…………… 少々
キャベツ…………… 2~3枚	サワークリーム …… 大さじ2~4

☆ビーツの独特な香りが気になる場合は、塩少々を加えたお湯で皮ごと20分程度下ゆでしましょう。

作り方

- 1 肉は塩こしょうをして下味をつける。皮をむいたビーツと他の野菜を一口大に切る。にんにくをみじん切りにする。
- 2 オリーブオイルでにんにくを炒め、肉を加えて焼き色を付ける。
- 3 2にコンソメと水を入れ、肉が柔らかくなるまで煮る。
- 4 別の鍋でたまねぎを炒め、他の野菜も加えて炒める。
- 5 3の鍋に4の野菜とトマトピューレを入れて、野菜が柔らかくなるまで煮込む。
- 6 器に盛り付け、サワークリームを添えて出来上がり♪



めずらし
野菜 ⑤

スティックセニョール



スティックセニョールは茎ブロッコリーとも呼ばれ、中国の高級野菜カイランとブロッコリーを掛け合わせて生まれたアブラナ科の野菜です。見た目は、ブロッコリーより花蕾が小さく、茎が長いのが特徴。花芽は柔らかいブロッコリー、茎の部分はアスパラのような食感で、ほんのり甘味があります。青臭さなどのクセはなく、とても食べやすい野菜です。

スティックセニョールには、ビタミン類が豊富に含まれています。特にビタミンCの含有量はレモンの約2倍!カルシウムや食物繊維といったミネラルも含まれています。

簡単レシピ

スティックセニョールとベーコンのニンニク醤油炒め

作り方

- 1 スティックセニョールは食べやすい大きさに切り、さっとゆでて水気を取る。にんにくは薄切り、ベーコンは一口大に切る。
- 2 鍋に油を敷き、にんにくとベーコンを炒める。香ばしくなったらスティックセニョールを加える。
- 3 チキンブイヨン、しょうゆ、酒を加え、全体に味を馴染ませて出来上がり!



材料

スティックセニョール	……………	1房	しょうゆ	……………	小さじ1
ベーコン	……………	お好みで	酒	……………	小さじ1
にんにく	……………	1片	サラダ油	……………	適量
チキンブイヨン(顆粒)	…	小さじ1			

めずらし
野菜 ⑥

スイスチャード

スイスチャードはアカザ科フダンソウ属の葉野菜で、和名はフダンソウ(不断草)。「リーフビート」とも呼ばれ、てんさい(砂糖大根)やビーツなどの仲間です。葉柄や葉脈が赤や黄色、ピンク、朱色など鮮やかな彩りが特徴で、アメリカやヨーロッパなどではサラダなどによく用いられます。

カロテンを非常に多く含み、ビタミンE、ミネラル、カリウムなどの栄養素も豊富です。青臭さやクセは無く、色合いを活かして色々な料理に使えます。柔らかい葉は生でもおいしく食べられますが、外葉や柄の部分は固いので、加熱する料理で使うのがオススメです。



簡単レシピ

スイスチャードのナムル

材料

スイスチャード	……………	1把	いりゴマ	……………	大さじ1/2~2
鶏がらスープの素	…	小さじ1	ごま油	……………	大さじ1/2
にんにく(すりおろし)	…	少量	塩	……………	少々
こしょう	……………	少々			

作り方

- 1 スイスチャードを3~4cmの長さに切り、塩(分量外)を加えた熱湯に柄の方から順に入れ、さっとゆでて水にさらす。
- 2 水気を絞ったスイスチャードに鶏がらスープの素、にんにく、いりゴマ、ごま油を加えて和える。
- 3 必要に応じて塩で味を調えて出来上がり!



想いは深し 中西俊一



中西家6代目当主

北区百合が原。かつては篠路村烈々布れつれつぷと呼ばれたこの土地に、富山県から中西家が開拓を目指して入植したのは、明治30年3月のこと。それから120年以上の時間が過ぎ、現在6代目当主であり、旧篠路農協時代に代表監事、合併後も監事を務めた中西俊一さんを訪ねた。すっと背筋が伸びた凛とした佇まい、朗らかな語り口は全く年齢を感じさせないが、昨年米寿を迎えたという。

「北海道にやってきたのは、曾祖父である三代目当主、茂平の時代です。この頃は、札幌本府の開拓はかなり進んでいたものの、烈々布はまだ原始林に覆われた未開の地だったようですね」

家族7人で入植して8年目を迎えた明治38年、中西家は俊一さんの祖父・藤市氏が曾祖父に進言し、酪農を始めた。

「祖父は、烈々布の地勢や将来性を考え、酪農に発展する可能性を見出しました。雑乳牛3頭から始め、見事に収入につなげたのですから先見力に長けていたんですね」

祖父の藤市氏は、篠路村の活性化と発展のため人生を捧げた人物。産業組合の設立に奔走し、後に北海道酪農販売組合連合会(現ホクレンの母体)の専務理事に就任、指導的役割を担うなど、北海道酪農の先駆者的存在。

また、父の一男氏は、旧篠路農協の初代組合長にして、30年間その大任を務めた功労者。地元では知らない人がいないほどの人物だ。

俊一さんにお話を伺えば、自分のことは二の次に、尊敬して止まない祖父や父のエピソードを嬉しそうに語ってくれる。

「私の人生は、祖父や父の話をなくしては語れません。今の自分があるのは、曾祖父がこの地に入植し、祖父、父が礎を築いてくれたから。私は120年の歴史のひとコマに過ぎませんよ」

父に代わって

7男2女の長男として生まれた俊一さん。物心付いた頃から小学校6年までは親元を離れ、組合の仕事で苗穂へ移っていた祖父母と共に暮らした。太平洋戦争が始まってからは、篠路へ戻り家の仕事を見よう見まねで手伝うことになる。当初は勝手が分からず母に叱られることもあったが、徐々に長男としての自覚が芽生えていく。

「母も農協婦人部の活動や地域の活動に奔走していた人でした。両親が周りのために外に出ていたので、長男である私が家を守らなければという気持ちでした。それが当たり前と思っていたし、苦勞を感じたことはありませんよ」

祖父から父、父から俊一さんに引き継がれた酪農は、平成8年頃まで続けた。牛の数は、10頭〜20頭ほど。時代と共に、規模の大きな酪農が地方で広がったこともあり、父の三回忌が過ぎたところで終止符を打つ決断をした。

酪農を辞めてからは、玉葱の作付けに転換。自家用程度というが現在も続けており、収穫は、家族総出で取り組む一大行事。



▲平成22年秋の褒章で受章した「藍綬褒章」。受章した際に、妻のスミ子さんとともに天皇陛下に拝謁賜ったことは、感激の極みであった。

「私は、もう農業をびっしりやっているわけではないけれど、今も農業で汗を流している人を見ると、自分達の仲間が頑張っていると感じています。食べ物を口に運ぶことは、生きていることの証。農業は、国にとって一番欠かしてはならない事なんですよ」

俊一さんは、昭和29年より酪農の傍ら、多忙極める父に代わって農林業センサス調査員の仕事にも就き、半世紀以上にわたって続けてきた。地道な努力が認められ、平成22年には、「藍綬褒章」を受章。中西家は祖父も父も褒章の栄に浴しており、3世代続けての叙勲は、至上の喜びであった。

想いは深い

俊一さんは、今年1月、かねてからの念願叶い、家族史『中西家百二十年の歴史』想いは深し』を完成させた。曾祖父の入植から父の時代、俊一さんと家族の時代の二部構成でまとめられているこの家族史は、中西家の絆や先代たちが力を注いだ事柄について詳しく記されている。

「他人にあれこれ伝えようということではなく、子どもや孫に伝えたい、遺したいという思いで作しました」

この家族史にも度々登場する篠路地区に伝わる郷土芸能が「篠路獅子舞」。元々は、烈々布獅子舞と呼ばれ、現在は、毎年9月の篠路神社の秋祭りで奉納される。篠路獅子舞は、父・一男氏が保存育成に力を尽くし、その意思を継いだ俊一さんも記念誌を発行するなど文化伝承の活動を続けている。

「父をはじめ、子どもや孫も、獅子取りの大役を担ってきました。開拓当初、何の楽しみもなく苦しみの連続だった先人たちが、団結して始めたのが篠路獅子舞。この文化は、篠路に生きる私達の誇りであり、次の世代にも伝えていきたいと思っています」



▲昔から写真が趣味で、自宅には貴重なカメラの数々がずらり。家族史の写真もほとんど俊一さんが撮影したもの。

中西家では、今も3世代が一つ屋根の下で共に暮らしている。普段から賑やかな家の中が、お正月には、親族50人以上が大集合してさらに賑わうという。3人の子ども、8人の孫、そして4人のひ孫に恵まれた。

「昨年、ひ孫が1ヶ月違いで2人生まれてね。この子たちが大きくなるまで死ねないよと家族にも言われていますよ(笑)。家族のつながりが元気の源なんです」

『想いは深し』という言葉は、様々な苦難を乗り越えて今に至った歴史や先代たちへの俊一さんの感慨を表す。90才目前、変わらず精力的に地域のために活動を続けられること、子どもや孫たちに囲まれて過ごす毎日に、俊一さんは、この上ない幸せを感じている。

お忙しいところ、取材にご協力くださいました中西俊一さん、ありがとうございました。
(2018.5.15取材)



5月21日(月)

西町統括支店 1統括支店1協同活動

組合員が幼稚園に出向き、園児とともに畑作り

西町統括支店では、同地区の組合員・職員が西野桜幼稚園を訪れ、年長園児88名とともに種芋と野菜苗の植え付けを行ないました。

西野桜幼稚園での取り組みは、今年で3回目。今年は、馬鈴薯・トマト・キュウリ・サツマイモ・カボチャなどを育てます。園児は、それぞれの苗から何の野菜ができるのか興味津々。組合員や職員に教わりながら、自分達の手よりもだいぶ大きなポットから苗をはずし、真剣な表情で植え付けていました。

今回植えた野菜は収穫時期を迎えたものから順次収穫し、園の授業や行事などで使用します。また秋には組合員も参加し、馬鈴薯の収穫を園児とともに行なう予定です。



2人で1つの苗を植えました。



みんなで植えた野菜、おいしくなあれ!!



5月23日(水)

清田統括支店 1統括支店1協同活動

今年も「ゆめ田んぼ」で米作り

清田統括支店では、清田ライオンズクラブが中心となつて行なう清田小学校児童の田植え体験への協力を行ないました。

清田小学校敷地内にある田んぼは「ゆめ田んぼあしりべつ」と名付けられ、同地区組合員の林義隆さん指導の下、毎年5年生が米作りを体験しています。

児童は裸足で田んぼに入ると、土のひんやりした感覚に歓声をあげて大はしゃぎ。初めての田植えを楽しんでいました。

今後は生育の様子を観察し、秋には稲刈り体験を行なう他、もち米を使って餅つきも予定しています。



線に沿って進めば真っすぐ植えられます。



一斉に田んぼに突入!



組合員の
活動をご紹介します!
します!

a l a c a



6月2日(土)
南統括支店 1統括支店1協同活動

小学生も高校生も大人も泥だらけ! 総勢80人「こがねの里」で田植え

南統括支店では、市内在住の親子や札幌新陽高校の生徒など総勢80名が参加し、田植え体験を行ないました。

同地区組合員の土田栄子さんからお借りした田んぼ「こがねの里」での米作りも今年で5年目。支店でのチラシ配布やホームページで参加者を募り、今年は11組の親子が集まりました。また新陽高校との連携は、昨年秋の稲刈りから継続しているもので、全校生徒に希望者を募り24名が参加。今年から田んぼを2面に増やし、1時間ほどかけて全員で田植えを楽しみました。

初めて田植えを体験したという小学生は、「裸足で田んぼに入るのが最初は嫌だったけど、やったら楽しかった。真っすぐ植えるのが難しい」と話していました。秋には収穫体験を行ない、精米した米を参加者にプレゼントする予定です。



参加した親子の皆さん。



新陽高校の生徒の皆さん。

同地区組合員の南里正博さんが苗の植え方を指導しました。



6月4日(月)
白石統括支店 1統括支店1協同活動

「今年もたくさん実をつけて」 猛暑の中、児童が枝豆と大豆の苗植え

白石統括支店では、東札幌小学校3年生児童98名が、枝豆「サッポロミドリ」と「鶴の子大豆」の苗の植え付けを体験しました。

同地区組合員、宮崎勝吉さんの畑をお借りして行なうこの取り組みは今回で3年目。体験前の質問タイムでは、たくさん手が上がり、児童から「水やりはどれくらいするんですか?」などの質問が上がりました。この日の札幌は30度を超える真夏日となりましたが、参加した児童は、組合員から植え方を教わりながら、元気に作業を楽しみました。今後は草取り体験を2回ほど行ない、枝豆から順に収穫を行なう予定です。



苗の植え方を説明する同地区の宮口理事。





とれたて農産物の直売が続々スタート！

JAさっぽろの組合員が生産した農畜産物を扱う直売所が今シーズンの営業を開始しました。店頭には並ぶ商品は生産者が毎朝持ち込み、新鮮で安全・安心！各直売所では、おいしい農畜産物を求めて連日たくさんの人で賑わっています。開店後まもなく売り切れてしまう人気商品も多いので、早めの来店がオススメ。品数は今後さらに増えていく予定です。

とれたてっこ南生産者直売所

札幌市南区石山2条9丁目7番88号
(JAさっぽろ南支店隣接)

☎(011)592-6141

☎6月1日(金)～11月上旬
月～土曜日/9:30～15:00

Ⓜ日曜日・祝日



しのろとれたてっこ生産者直売所

札幌市北区篠路3条10丁目1番2号
(JAさっぽろ篠路支店敷地内)

☎(011)771-2130

☎6月15日(金)～10月下旬
月～土曜日/10:00～16:00

Ⓜ日曜日・祝日



東経済センター厚別直売所

札幌市厚別区厚別中央5条3丁目
1番6号(厚別支店隣接)

☎(011)891-2154

☎6月25日(月)～10月末
月～金曜日/9:00～16:00

※種の購入に限り、17:00まで可能です。

Ⓜ土曜日・日曜日・祝日



ホクレンショップ「もぎたて市」でも札幌産を販売！

ホクレンショップ店舗内に設けられる生産者直売コーナー「もぎたて市」。南区の中ノ沢店、清田区のFood Farm平岡公園通り店では、札幌産の野菜を取り扱っています。もぎたて市は、11月上旬までを予定しており、生産者直送のもぎたて野菜が毎日店頭には並びます。

中ノ沢店

札幌市南区
中ノ沢2丁目2番地

☎10:00～21:45



Food Farm 平岡公園通り店

札幌市清田区里塚
緑ヶ丘5丁目1番10号

☎10:00～21:00





組合員の
活動をご紹介します！

a l a c a

「苗は3本くらいずつ
分けて植えてね」



宮本代表監事の話
を熱心に聞く児童たち。



5月31日(木)
新光小学校田植え体験

宮本代表監事、 小学生に田植え指導

北区新琴似の新光小学校で田植え体験が行なわれ、米の生産者でもある宮本二三男代表監事が苗の植え方を指導しました。田植えを行なったのは5年生児童93名。ほとんどの児童が初めての体験です。

宮本代表監事が手本を見せると、児童は順番に田んぼに入り田植え開始！最初は田んぼに入るのを躊躇していた児童も、1度入ってしまえば楽しそうに次から次へと苗を植えてつけていました。

田植え終了後は教室に場所を移して、児童からの質問コーナー。「1本の苗から何粒くらいのお米ができるのか」「たくさん収穫するには、どうすれば良いか」などの疑問が上がり、田植えを体験したことで米作りに関心を持った様子でした。



6月12日(火)
JAさっぽろ女性部


雨の中、巨大生産プラントを見学

JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、今年度2回目の役員会を兼ねた現地研修会を開催しました。今回は本部役員19名が参加し、苫小牧にある株式会社Jファームの生産プラントを訪問。ミニトマトとベビーリーフの水耕栽培施設を見学しました。施設では、日射・風向きなどの天候データから、室内の温度・湿度など栽培に関する高度な制御がコンピューターで管理されており、天然ガスエンジン、バイオマスボイラ、温泉熱のヒートポンプなどの多様なエネルギー利用によって温室内のCO₂が保たれています。参加者は施設担当者の説明に興味深く耳を傾けていました。

昼食は白老に移動し、「いわさき」にて白老牛を堪能した後、虎杖浜の大漁番屋でタラコの詰め放題に挑戦。中ビンいっぱい工夫を凝らしてタラコを詰め込み、皆さん満足顔に。白老たまごの里マザーズ、道の駅サーモンパーク千歳にも立ち寄り、お買い物も充分楽しんで帰路に着きました。出発時から大雨で一日中止むことのない天候でしたが、事故なくお腹も心も満足、充実した研修となりました。





 5月21日(月)
女性部白石支部

身近なチョコレートの話 食べ比べや試飲で、 さらにやる気アップ!?

女性部白石支部(越野ナミ子支部長)では、部員27名が参加し講習会を開催しました。

今回は、チョコレートでお馴染みの株式会社明治の担当者の方を講師に招き、2つのテーマで講習を実施。1つ目は、「カカオの生産やチョコレートの製造・歴史・健康にまつわる話」と題し、チョコレートの食べ比べや栄養ドリンクの試飲もして大満足! 2つ目は、「長生き・介護予防のための『食』や栄養の採り方について」。食について新たな「気づき」を得ることで、毎日の食生活を見直すきっかけになりました。プロジェクトや資料を見ながら楽しく学ぶことができ、有意義な時間を過ごしました。(澤田特派員)

食べ比べや試飲ができて、
ちょっとお得な気分〜♪

 5月22日(火)~24日(木)
女性部厚別支部

道東の名所・名湯を満喫

女性部厚別支部(小林裕子支部長)では、部員15名が参加し、道東へ親睦旅行を実施しました。

初日は池田ワイン城でバイキングとワインを楽しみ、釧路湿原へ移動。展望台から雄大な景色を眺め、夜は阿寒湖温泉に宿泊しました。2日目は阿寒湖のマリモを観察し、和商市場でお好みの海鮮丼が作れる勝手丼を堪能。柳月スイートピアガーデンでたくさんのお土産を買った後に十勝川温泉に向かい、宴会、お部屋での2次会と遅くまで楽しみ親睦を深めました。3日目は新得町でそば打ち体験を行ない、自分達で打ったそばをおいしくいただきました。

天候にも恵まれ、終始にぎやかなバスの旅を満喫し、お土産いっぱい大満足で帰路につきました。(山岡特派員)



美味しいおそばが
できました!



組合員の
活動をご紹介します
します!

a l a c a



6月16日(土)

北海道神宮祭(札幌まつり) 神輿渡御輿丁奉仕

多くの市民に見守られ、神輿渡御 組合員・職員が大役果たす

北海道神宮祭の最終日に行なわれる「神輿渡御」に琴似地区・中央地区の組合員と当JAの職員13名、札幌協同振興(株)の社員1名、JA北海道信連札幌支所・JA共済連北海道の職員4名が参加しました。

今年で139回目の神輿渡御は、祭囃子を響かせながら神輿4基と山車9基が1.3kmに渡って行列を作る札幌の初夏の風物詩。今年は午前9時半頃に中央区北1条西25丁目の北海道神宮第一鳥居を出発。午前中は大通公園や道庁周辺を周り、南1条東3丁目の頓宮へ。午後はすすきの、中島公園を巡り、再び大通公園へと列を進め、夕方5時頃に本殿に到着しました。

4基ある神輿の1基目を担ぐ大役を担った当JAからの奉仕員は、色鮮やかな装束を身にまとい、多くの市民が見守る中、13kmの道のりを一日かけて練り歩きました。



南1条西4丁目付近には、神輿渡御を一目見ようと大勢の人が押し寄せていました。



6月19日(火)

第5期 女性大学「Lカレッジ」

過去の災害、教訓に 我が家の防災を見直す

JAさっぽろ女性大学「Lカレッジ」では、公益財団法人札幌市防災協会 防災危機管理専門官の細川雅彦さんを講師に招き、第2回講座「災害にそなえて～何が起こる・どう備える～札幌の場合」を開催しました。

今回は、過去に起こった地震・洪水・火山噴火などの災害を振り返りながら、札幌でも起こりうる非常事態を学習。過去に札幌市消防局に勤め、数々の災害現場へ出動した経験を持つ細川講師が、災害発生当時のリアルな状況を話す場面もありました。6月18日に起こった大阪北部地震の翌日の開催だったこともあり、受講生の防災への関心はより高く、時折メモを取りながら熱心に受講していました。また、さまざまな防災グッズの実物も展示され、受講生は興味深く手に取っていました。講座終了後には、お弁当を囲んで昼食会を行ない、受講生同士の親交を深めました。

次回は8月に江別方面への日帰り視察研修を予定しています。

「Lカレッジ」とは?

若い世代とJAとのつながりを深める次世代対策の一環として、平成26年度より始まった取り組み。「Lady(女性)がLink(つながり)を持ってLife(生活)についてLiberty(自由)にLearn(学ぶ)場所」として、毎回様々な講座を行なう。



講師を務めていただいた
細川雅彦さん。



防災グッズの重要性を再認識。



5月17日(木)
青色申告会

第16回通常総会開催 新会長に手稲支部 久木支部長が就任

青色申告会(稲垣政博会長)では、会員と事務局、来賓を含め41名が出席し、本店大会議室にて第16回通常総会を開催しました。南支部の新井伸二支部長による議事進行のもと、全ての議案が満場一致で可決承認。役員改選に伴い手稲支部の久木博光支部長が新会長に就任されました。

総会終了後には、札幌中税務署 大内晴樹氏による「相続に係る財産評価について」と題した研修会を開催。実際に土地建物を評価している税務署員の話に参加者は熱心に耳を傾けていました。(森特派員)



5月24日(木)
資産管理部会

全議案承認の第20回通常総会 集合住宅の人気設備を確認

資産管理部会(乙坂栄順部会長)では、部会員と役員、来賓を含め42名が出席し、本店大会議室にて、第20回通常総会を開催しました。豊平支部の山田和彦支部長が議長を務め、全ての議案が満場一致で可決承認されました。

総会終了後は、㈱NTT東日本 北海道ブロードバンド営業部門の担当者を招き、集合住宅での人気設備について講演いただきました。今や幅広い世代に人気のインターネット設備に安全・快適性が求められることや最新の防犯設備の説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。(渡辺特派員)



5月24日(木)
JAさっぽろ職員OB会

定期総会に職員OBが勢ぞろい

JAさっぽろ職員OB会(小川高司会長)では、会員に役員を含めた29名が参加し、ホテルモンテレーデルホフ札幌にて定期総会および親睦観桜会を開催しました。総会では、小川会長が議長を務め、全ての議案が可決承認されました。

総会終了後に行なわれた観桜会では、豪華賞品をかけたビンゴゲームを楽しみ、互いの近況や思い出話に花を咲かせました。(丸山特派員)



★あなたの自慢、教えてください★

ジマンだい!

中央地区 永野 拓也さん



「新川桜並木の四季写真展」

中央地区の永野拓也さんが、5月20日から26日までの間、北区区民センターで新川桜並木の四季を撮影した写真展を開催しました。

新川桜並木は、琴似川・新川と新川通りの歩道に沿って10.5kmも続く桜並木。中でも八軒新橋付近の桜は特に大きく見ごたえがあります。

永野さんは、昨年の春から今年の春にかけて通算50日近くこの桜並木に通い、四季折々の写真を撮影。今回は、大小60枚の写真を展示しました。

永野さんは、「日中に撮影するときは、すかっと晴れた青空の日を狙って撮影に出かけます。1度に100枚は撮りますが、納得いく写真はほんのわずか。桜は満開の時期ばかりが目立りますが、他の季節もなかなか見どころがあるんですよ」と話していました。

タイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。



▲広報誌の表紙写真の撮影でお馴染みの永野さん。今後、新川桜並木の写真が表紙を飾ることもあるかも!?



▲つぼみが開くまでを追った写真も展示。マイクロレンズで、ぎりぎりまで近寄って撮影しました。

新川桜並木の四季 撮影・永野拓也





不動産プラザ通信

不動産事業をご紹介します～便利な設備で差別化を図る～

施主 館川 勝弘さん(平岸支店組合員)



施設の概要	メゾネットタイプ
敷地面積	482.39㎡
構造規模	木造2階建2棟4戸
間取	共通:3LDK
延床面積	98.96㎡(1戸)
設備:エコジョーズ(給湯・暖房)、システムキッチン、洗浄機付トイレ、エアコン、お風呂追炊き、TVインターホン、全室LED照明、屋根付自転車置き場	

地域性

この辺りは、地下鉄南平岸駅やバス停が近く交通の利便性が良いところです。幹線道路が近いわりには、とても静かで落ち着いており、学校、病院、スーパー、公園も近く生活環境にも恵まれています。

今回の事業に至った経緯

敷地には、築45年になる貸家と駐車場がありました。建物の老朽化や耐震性能への不安、隣接する駐車場に関しては夏の除草や冬の除雪に少しずつ苦勞を感じており、建替えや資産の活用についてJAに相談をしていました。

賃貸アパートの多い地域なので、周りとは違う特徴のあるアパートを建てたいという思いがありました。JAからの提案の中で、ファミリー向けのメゾネット住宅がとても気に入った事、2棟建築する事で子供達にそれぞれ資産を残してあげたいという自分の思いに添った内容だったことから、今回の取組みを決定しました。



今回お話を伺った
館川勝弘さん

施設のこだわり

他の賃貸アパートとの違いを入居者に感じてもらいたかったので、風除室・カーポート、室内には電動物干を設置するなど、生活に便利な設備を多く取り入れました。

外観は落ち着いた雰囲気の色合いにこだわり、A棟とB棟の内装や床の色、建具を違うものにするなどそれぞれに特徴のある建物に仕上げました。

今回の事業の感想

古い建物と駐車場の維持管理が大変だったので、今回の住宅を建設したことで気が楽になりました。希望通りの住宅が完成し、引渡し時には既に満室で大変満足しています。

親の代から資産活用はJAに相談し賃貸事業を行なっていますが、今回も相談・提案から建物の引渡しまでしっかりと対応してくれたので安心して事業に取組むことができました。将来、別の資産活用もJAに相談し取組みたいと思います。

お忙しい中、取材にご協力いただきました館川さん、誠にありがとうございました。

JAさっぽろでは資産管理事業を通じて、組合員のお役に立てるよう様々な提案・相談・サポートを行なっております。資産活用のご相談は各支店、不動産プラザにお任せください。



JAまつり・収穫祭が始まります！

毎年たくさんの方にご来場いただいている、JAまつり・収穫祭を今年も開催いたします。各会場では、趣向を凝らしたイベントを多数用意！多くの方のご来場をお待ちしています。

開催日程・イベント内容などの詳細は、決まり次第ホームページにてお知らせいたします。



8月5日(日)
厚別支店
特設会場

10:00~14:00

8月25日(土)
清田区役所
市民交流広場

10:00~14:00

9月1日(土)
手稲支店
特設会場

10:00~14:00

10月6日(土)
上篠路倉庫
特設会場

10:00~13:00

※今年度より収穫祭となりますので、ステージイベントはありません。

10月7日(日)
玉葱選果
センター(丘珠)会場

10:00~12:30

1統括支店1協同活動

農作物の観察日記を公開中!

各支店の「1統括支店1協同活動」で育てている農作物の観察日記を当JAのホームページで公開しています。

広報誌では伝えきれない生育の様子を掲載していますので、是非ご覧ください。

JAさっぽろホームページ

<http://www.ja-sapporo.or.jp/>

JAさっぽろ

検索



観察日記は
こちらから!

携帯電話・スマートフォンからの
アクセスはこちら→





受講者募集!

北大に来てみませんか?

第2回 協同組合学 公開講座を開催!

協同組合学 公開講座は、北大のイベントや施設を見学しながら、協同組合や農協について考える講座です。知っているようで知らない協同組合や農協のこと。北大の先生たちが分かりやすく解説します!

日時 : 平成30年 **8月18日(土)** **13:00~15:30**

会場 : 北海道大学 構内・北大農学部 S302

参加費無料!

〈第1部: 農と食のイベント「北大マルシェ」を散策〉 13:00~14:00

〈第2部: 講義〉 14:00~15:30

講師: 栗山町役場経営企画課 金丸大輔さん(北海道大学大学院農学院 社会人大学院生)

テーマ: 「**フード~食料確保および食の安全・安心を支える農協**

・生活に欠かせない「フード(食料)」の安全・安心を支える農協の事業とその役割を解説!

【参加資格】JAさっぽろの組合員(ご家族含む)で第1部・第2部の両方にご参加いただける方

【募集定員】30名程度

【申込方法】ハガキ・FAX・Eメールのいずれかの方法で、①郵便番号、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号をご記入の上、下記宛て先までご応募ください。

【宛て先】〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号

「JAさっぽろ 公開講座」係

FAX: (011)621-1449 Eメール: kouhou@ja-sapporo.or.jp

【締め切り】平成30年**7月31日(火)**(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

【お問合せ】JAさっぽろ 経営企画室 経営企画課 TEL: (011)621-1980

※参加予定者には、JAより集合場所などの詳細についてご連絡いたします。

※講座風景を北大およびJAの広報誌やホームページなどに掲載させていただく場合があります。予めご了承の上、お申し込みください。

※参加申込で知り得た個人情報については、参加資格の確認およびご案内を発送する目的以外に利用いたしません。

*共催:「北海道大学大学院農学研究院 農林中金寄附講座 協同組合のレーゾンドートル研究室」



前回の様子...



6月2日(土)に開催した第1回講座の第1部では、約200の模擬店が並ぶ「北大祭」を散策。中国や韓国からの留学生がメイン通りを案内してくれました。

第2部では、「ファミリー~協同組合における生産と消費のユニット~」と題し、北大大学院の坂下教授が家族形態の変化などによる食生活の影響などについてわかりやすく解説しました。

JAやJA関連団体へ100%就職 (平成29年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 第1回学生募集 JAカレッジ

●60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成30年4月1日現在)

●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込

男女共学

JA、JA関連団体へ就職

●試験日:9月8日・9日 ●願書受付:7月2日~8月13日消印有効 ●学校見学もできます

お問い合わせ
資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 JAカレッジ

理事会だより

◆第2回定例理事会

平成30年5月30日(水)午後2時より本店役員会議室において第2回定例理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、平成29年度決算監事監査報告

●協議事項

1、平成30年度事業計画の一部変更について

特別債権の部分直接償却等による貸出金、並びに事業管理費に係る計画変更内容が説明され、可決決定。

2、『定款』の一部変更の一部修正について

平成31年度以降、全国農業協同組合中央会による監査から会計監査人による監査に移行されることに伴う所要の変更(平成30年1月31日開催の第10回定例理事会承認)に基づき、第20回通常総代会へ提出する議案書の変更に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

3、『規約』の一部変更の修正(取下げ)について

『定款』の一部変更の一部修正に伴い、規定の変更が不要になった事から議案の取下げを願う旨が説明され、可決決定。

4、第20回通常総代会の提出議案の一部変更について

『規約』の一部変更が取り下げられたことに伴い、第20回通常総代会へ提出する議案書の変更をする旨が説明され、可決決定。

5、第20回通常総代会の目的事項について

第20回通常総代会の目的事項(議事日程・決議事項・報告事項)が説明され、可決決定。

6、総代会参考書類に記載すべき事項、および決算関係書類および部門別損益計算書について

第20回通常総代会議案(総代会参考書類)記載の内容、決算関係書類(貸借対照表・損益計算書・注記表・附属明細書)、剰余金処分案、監査報告書、部門別損益計算書、および平成30年度事業計画の設定内容について説明され、可決決定。

7、議決権行使書面について

第20回通常総代会における議決権行使書面の様式、賛否の判定、提出期限等が説明され、可決決定。

8、代理人による議決権の行使について

第20回通常総代会における代理権標識の様式、配布方法等が説明され、可決決定。

9、平成30年度給与改定について

平成30年度の平均定昇額および昇給率等の改定案が説明され、可決決定。

10、平成30年度正職員夏期手当の支給について

夏期手当の支給基準・支給人数・支給総額・支給日等が説明され、可決決定。

11、平成30年度余裕金等運用計画額および運用方針の変更について

平成30年度事業計画(貸出金残高)の変更に伴う内容が説明され、可決決定。

12、平成30年度第1四半期余裕金等運用計画額および運用方針の変更について

平成30年度事業計画(貸出金残高)の変更に伴う内容が説明され、可決決定。

13、大口融資の取扱いについて

丘珠支店扱いの大口融資1件について、申込者申込事項、取組経過等が説明され、可決決定。

●報告事項

1、JA全国監査機構決算監査報告

2、平成29年度自己資本比率について

3、総体的なりスク量の報告について

4、リスクの量的報告(自己資本比率確定後)

5、平成29年度大口信用供与先経営状況報告

6、貸出金に係る信用集中リスク報告

7、平成29年分確定申告集計について

8、4月末財務状況報告

9、4月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告

10、5月の動静と6月の予定について

11、札幌協同振興(株)の平成29年度決算等報告

(閉会・午後4時53分)

JAさっぽろDATA

(平成30年5月末業務実績) (平成30年4月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,811名	正組合員	3,806名
	准組合員	31,475名	准組合員	31,377名
	合計	35,286名	合計	35,183名
出資金残高		54億9千3百万円		54億7千6百万円
販売取扱高		2億2千6百万円		1億5千4百万円
購買供給高		2億4千万円		7千4百万円
貯金残高		3,179億6千1百万円		3,175億2千8百万円
融資残高		853億6百万円		855億6千5百万円
共済保有高		6,011億6千5百万円		6,023億3千万円
施設建設取扱高		—		—
管理受託戸数		4,410戸		4,390戸

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

ポーラスターのキッシュ 函館洋菓子スナッフルスで販売

札幌産のブランドほうれん草「ポーラスター」を使用したキッシュが、函館洋菓子スナッフルスで販売されています。

ポーラスターをはじめ、マッシュルームやベーコンなどの具材と数種類のチーズをたっぷりを使用したキッシュは、スナッフルスさっぽろ清田店、赤れんがテラス内にある姉妹店ペシェ・グラン、4月26日にオープンしたばかりの新店舗、スナッフルスさっぽろ東急店のカフェスペースにて提供。ポーラスターの甘みが存分に堪能できる逸品に仕上がっています。

スナッフルスでポーラスターが使用されるのは、昨年引き続き2年目で、キッシュは“きよたでお菓子を食べてよう！キャンペーン委員会”と清田区が主催する「きよたスイーツスタンプラリー」の開催をきっかけに製作されました。今年から通年販売されることになり、ポーラスターは9月頃まで使用されます。

函館洋菓子スナッフルスを運営する有限会社ペシェ・ミニョンの企画本部企画課マネージャーの笹尾佳代さんは、「ポーラスターを使ったキッシュを地元・札幌の皆さんに是非味わっていただきたい」と話していました。



▲スナッフルスさっぽろ清田店、さっぽろ東急店で提供されるキッシュプレートは、サラダや飲み物がついて1,080円(税込み)。単品だと411円(税込み)。

函館洋菓子スナッフルス さっぽろ東急店

札幌市中央区北4条西2丁目2-1
B1階 [東急フードショー]内

☎(011)522-8443

ペシェ・グラン (Pêche Grand)

札幌市中央区北2条西4丁目1
赤れんがテラス1階

☎(011)206-0690

函館洋菓子スナッフルス さっぽろ清田店

札幌市清田区清田2条3丁目10-55

☎(011)376-0336

※提供される商品は、写真と異なる場合があります。
詳しい営業時間などは、各店にお問い合わせください。



北大祭の献血ブースに協力



▲ポーラスターを手に献血を呼びかける北大生。たくさんの方にご協力いただきました。

6月2日(土)・3日(日)、北海道赤十字血液センター・北海道大学医学部・JAさっぽろが連携し、北海道大学の「北大祭」に献血ブースを設置しました。

当JAは、献血協力者へのお礼品に、「ポーラスター」ほうれん草を提供。ポーラスターがお礼品として使用されたのは、昨年引き続き2度目で、ほうれん草生産者のアイデアを具体化する形で実現しました。

献血ブースでは、北大医学部の学生が献血に関するチラシを作成・配布して献血の協力を呼びかけ、2日間合わせて176名(採血130名)の方にご協力いただきました。

「2018みんなのよい食JA親善大使」開催！

5月27日(日)、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による「2018みんなのよい食JA親善大使」が開催され、サッカー少年団などに所属する小学生45名が参加しました。コンサドーレからは、小野伸二選手(MF)、都倉賢選手(FW)、ジェイ選手(FW)、内村圭宏選手(FW)、四方田修平ヘッドコーチの5名がJA親善大使として登場し、子ども達とサッカー教室や食と農に関するクイズなどを楽しみました。

食べ物クイズでは、「清田区のブランドほうれん草の名前は?」、「札幌の伝統野菜は?」など、子ども達が自ら考えてきたクイズを出題。子ども達と選手と一緒に悩みながら答え、農業や食の大切さを学んでいました。

最後には選手への質問コーナーやサイン会も行なった他、子ども達にコンサドーレグッズと札幌産小松菜のお土産が手渡され、大好評で幕を閉じました。



▲プロサッカー選手の技を盗もうと、子ども達の表情は真剣です。



▲食べ物クイズでは、子ども達に考えてきた問題を出題してもらいました。難問揃いで会場は大盛り上がり!

地元産がテーブルを彩る

ホテルオークラ札幌で「さっぽろ食彩フェア」開催

6月1日(金)からの1ヶ月間、開業15周年を迎えるホテルオークラ札幌で、札幌産の農畜産物や札幌企業の加工品を用いたメニューを展開するレストランフェアが開催されました。

期間中、同ホテル内のレストランでは、札幌産小松菜、ポーラスターほうれん草、古川ポークなどを使用した料理が出されたほか、バーのメニューでは札幌大球キャベツを使ったザワークラウト(北日本フード社)が提供されました。また、ホテル内にはポ

スターパネル、観光パンフレットが設置され、札幌の観光と食がPRされました。

フェアに先行し5月31日(木)に行なわれたオープニング試食会には、食材を提供した関係企業の代表、秋元克広札幌市長が招かれ、当JAからは軽部副組合長が出席。参加者は、シェフの手によって見事に料理に活かされた地元の味に舌鼓を打ちながら、あらためて『札幌産』の魅力語り合いました。



▲左よりホテルオークラ札幌 宮崎社長、秋元札幌市長、軽部副組合長。

下川商業高校の生徒が中央支店へ

企業見学受け入れ

5月31日(木)、下川商業高校の生徒3名が中央支店を訪れ、企業見学を行いました。

3年生の授業の一環として行なわれたこの取り組みは、各生徒が興味のある業種を選択し受け入れ先に訪問するというもの。

生徒は「地元のJAとは違いがあるのかと思い、見学してみたいと思いました。JA全体の事業に興味があります」と話し、店舗の様子を見学しながら、熱心に説明に耳を傾けていました。



▲今後の就職活動では、JAも視野に入れて活動するとのこと。

「振り込め詐欺に気をつけて！」

篠路支店で道警が注意呼びかけ

篠路支店では、6月15日(金)の年金支給日に合わせ、北海道警察と連携した振り込め詐欺への注意喚起活動を行いました。

店頭では、道警の職員やマスコットキャラクター「ほくとくん」をはじめ、防犯協会に所属する地元のボランティアなど20名が、詐欺の手口などを紹介したパンフレットなどを配布しながら、来店客に注意を呼びかけました。

窓口を訪れた来店客の一人は、「日頃から家族にも振り込め詐欺に気をつけるように言われているが、今一度注意しようと思う」と話していました。



札幌伝統野菜 サッポロミドリ

出前授業で児童が植え

東経済センターでは、6月18日(月)に清田区の平岡公園小学校、20日(水)には厚別区のもみじの丘小学校に出向き、札幌伝統野菜のエダマメ「サッポロミドリ」の植えを児童が体験する出前授業を行いました。

もみじの丘小学校の出前授業では、3年生児童50名がサッポロミドリの歴史や特徴・種から芽が出る条件などを学んだ後、校内の畑で植えを体験。一人10粒の種が配られると、畑に穴を開けて種を落とし土をかぶせていました。

今回植えたサッポロミドリは、夏休み明けに収穫ができる予定で、児童は水やりや成長の観察なども行っていきます。体験した児童は、「たくさん収穫できるように、頑張って育てたい。自分の植えた場所を覚えておく」と笑顔で話していました。



自転車事故の怖さ実感!

スタントマンが体を張って実演

JA共済連北海道と北海道警察、札幌市の主催で行なう「スケアード・ストレイト技法による自転車交通安全教室」が、6月12日(火)に平岡高校で開催され、自転車のマナー違反における危険性を全校生徒に呼びかけました。

スケアード・ストレイト技法とは、交通事故を現実に近い状態で再現することにより危険性を疑似体験させる技法のこと。今回の交通安全教室では、自転車走行中に起こりうる様々な場面を想定した事故をスタントマンが実演しました。目の前で繰り広げられる臨場感溢れるスタントに、生徒達は交通事故の怖さを再確認していました。



中央農業試験場公開デーに行きませんか?

今年も中央農業試験場で、公開デーを行ないます。中央農業試験場に対する理解促進を図り、生産と消費の結びつきを深めることを目的に、小中学生や一般市民、農業関係者を対象に、体験学習の場として、場内施設や試験研究内容などを公開するイベントです。

◇日時 平成30年8月2日(木)
9:30~14:00

◇場所 道総研 中央農業試験場内
(夕張郡長沼町東6線北15号)

◇参加費 無料!!

◇内容 場内探検ツアー、体験・展示コーナー、なんでも相談室(作物、土壌、病害虫)、試験場開発品種の試食、バスほ場見学、どん菓子製造実演など

※ご予約は不要です。
当日、正面玄関内にて受付ください。

お問い合わせ先 北海道立総合研究機構 中央農業試験場
TEL:0123-89-2586



さとらんど

さとらんどセンターにて、様々な講座を実施中!

夏の和菓子と料理

7月11日(水)から
受付開始!

2層のフルーツ水ようかん、
和風ピビンパ、
カブの冷製スープを作ります!



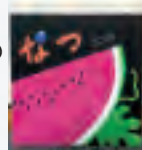
- 日時: 7月19日(木) 10時~12時
- 場所: さとらんどセンター
- 定員: 16名
- 参加費: 1,300円

夏休みクラフト講座

7月11日(水)から
受付開始!

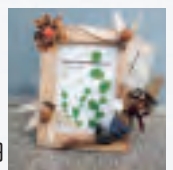
チョークアート作品作り

- 日時: 8月3日(金) 13時30分~15時
- 場所: さとらんどセンター
- 定員: 小学生以上の子と親 12組・24名
- 参加費: 1組1,000円



写真立てを木の実で飾る

- 日時: 8月10日(金) 13時30分~15時
- 場所: さとらんどセンター
- 定員: 5才以上の子と親 15組・30名
- 参加費: 1組1,000円



※この他にもさまざまな講座を行なっております。申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区北丘町584番地2 TEL(011)787-0223